

香柏会
バイブル
クラス

「キリスト教史跡探訪」

本年度は、11月10日(日)、陽の光が眩しく感じられる秋晴れの中、富山校長先生、宗教主任の佐藤先生にご引率頂き、お茶の水にあります“ニコライ堂”の名で知られる「日本ハリストス正教会教団東京復活大聖堂」を訪ねました。同大聖堂は、日本では有数のビザンチン様式の建築で、1962年に国の重要文化財に指定されております。



はじめに、私達は外観と内観の違いに驚かされました。宇宙を表しているというドーム(半球)は、高い吹き抜けになっていて、窓から差し込む自然光が、空色のステンドグラスをまるでプラネタリウムのように輝かせてみせました。静寂に満ちた聖堂内での僅かな照明の中、ハリストをはじめマリヤや聖人が描かれているイコン(icon)が、キャンドルの明かり

りに照らして、神秘的な演出となり、一時、心癒されました。

さらに、北原司祭のお話は面白く、ドームの形状が音響効果を高めていたことによって、司祭のお言葉は、より一層私たちの耳に心に響きわたりました。

教派による祈りの違いを教えてくださいましたが、神を信じ祈ることの根本的な願いは共通であること、それは本当に尊いことでありましょう。荘厳な雰囲気の中、心を鎮め自己を振り返る貴重な時間を与えて頂いた、素敵な探訪となりました。

2部の昼食会も、ニコライ堂を見渡せる景観の中、そこに集った人達の明るい笑顔のもと、温かで楽しい会となり有意義な一時でした。

皆様と共に学び、実りある大切な時間を過ごせました事に心より感謝申し上げます。

バイブルクラス 代表者

